

社員がいきいきと働ける職場づくりを進めている事例 株式会社綿半ホームエイド (ホームセンター)

事例1 子育て支援

子育て支援と従業員の福利厚生充実を目的として、事業所内託児所「わたぴーランド」を開設。



【取組みの効果】

- ☆育児休暇を取得している従業員が、希望時期に復帰可能となった。
- ☆育児に専念するため退職した従業員に、託児所で保育を支援することを伝え、復職が容易になった。
- ☆女性採用におけるアピールポイントとなっている。

事例3 本部での働き方改革など

- ☆フレックス制度
マネージャークラスにも導入
- ☆フリーアドレス制度、テレワーク制度
- ☆パパ産休制度
- ☆各店舗で行っていた経理事務を本部に移管
- ☆顧客等から店舗への連絡を本部が集中受付
- ☆店舗における従業員のマルチタスク化、セルフレジ導入
- ☆オーナーシップ(従業員持株)制度導入



本社外観

株式会社綿半ホームエイドの概要

- 所在地 長野県長野市
- 事業内容 ホームセンター、スーパーセンターのチェーン展開。EDLP(エブリデー・ロー・プライス)戦略を推進している。
- 店舗数 21
- 従業員数 448名 (2020年4月1日現在)



事例2 業務効率化

長池店(長野県長野市)にショピモ(※)を導入。



※ショッピングカートに取り付けられたタブレット端末を使用し、限定クーポン、店内マップやレシピ情報などのコンテンツを、カートの位置情報をもとに配信するサービス。



【取組みの効果】

- ☆店内マップの配信により、陳列棚の案内業務が減少するなど従業員の業務が効率化された。
- ☆来店者の買い物がスムーズになったほか、特売コーナーの案内や限定クーポンの利用などにより、買上点数が向上している。

《グループ企業 経営理念》

○ 武士の頃に民家臣とともに力を合わせ、地域を守り、発展させてきた「合」の旗印のもと、経営者と社員の隔てなく、社員全員による企業を目指しています。
○力を合わせ、分かち合い、響き合う「合才の精神」を経営理念に、皆さまからの「信頼に対して貢献をもって応える」経営を続けています。

《今後の課題等》(同社管理部門)

各種取組みの効果を検証し、更なる働き方改革を検討していく必要がある。